



## 答え合わせ・解説

問1	答え 3 ASEAN	1967年、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5か国によって「ASEAN（東南アジア諸国連合）」が結成されました。当初は反共的な側面もありましたが、次第に経済協力の枠組みとしての性格を強めました。
問2	答え 1 高度経済成長	神武景気やいざなぎ景気など、いくつかの好景気を経て日本経済は急速に拡大しました。重化学工業が中心となり、国民の生活水準も劇的に向上し、日本は世界有数の経済大国へと成長しました。
問3	答え 2 17	1960年、アフリカ大陸において一度に17もの国々が独立を達成しました。これによりアフリカの地図は大きく塗り替えられ、国際政治におけるアフリカ諸国の存在感が飛躍的に高まりました。
問4	答え 1 公害裁判	四日市ぜんそくのほか、水俣病やイタイイタイ病などの四大公害病において、住民が裁判を起こしました。多くの裁判で住民側が勝訴し、企業の責任が明確にされました。
問5	答え 2 国勢調査	1947年に行われた国勢調査は、戦後の社会状況を正確に把握する役割を果たしました。この調査により、食糧難や住宅不足などの社会問題を解決するための政策が練られました。
問6	答え 2 1949年	1949年、湯川秀樹がノーベル物理学賞を受賞したというニュースは、敗戦後の日本社会に大きな希望と自信を与えました。日本人にとって初めての快挙であり、科学研究の分野で日本が世界に通用することを証明しました。
問7	答え 4 貿易黒字	貿易黒字とは、外国への売上が支払いよりも多い状態を指します。日本は長年にわたり巨額の貿易黒字を記録し、世界経済の中で大きな存在感を示しました。しかし、この黒字の増大は、相手国の産業を圧迫し、政治的な反発や「貿易摩擦」を招く一因ともなりました。
問8	答え 2 テレビ	当時のテレビは一般家庭にとって憧れの家電であり、国民の娯楽や情報の入手源として生活様式を激変させました。その後、白黒からカラーテレビへと移行し、普及率はさらに上昇しました。
問9	答え 4 ASEAN	インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5か国によって結成されました。当初は反共主義の色合いもありましたが、次第に経済発展のための協力関係が強まりました。
問10	答え 4 国際連盟	本部はスイスのジュネーブに置かれました。世界平和の維持を目的としましたが、提唱国のアメリカが議会の反対で参加せず、ドイツやソ連などの参加も遅れるなど、組織としての力に限界がありました。
問11	答え 4 ビキニ環礁	1954年、アメリカが太平洋のビキニ環礁で行った水爆実験により、付近で操業中であった日本の遠洋マグロ漁船「第五福竜丸」が放射能を浴びる被災事件が発生しました。乗組員は深刻な健康被害を受け、この事実は核の恐ろしさを日本国民に強く認識させることとなりました。
問12	答え 1 国際社会への復帰	沖縄返還は、単なる領土の返還ではなく、戦後日本の完全な独立と国際社会への復帰を意味する出来事でした。沖縄の人々にとっては、長年のアメリカ統治から脱却し、平和憲法の下で日本の一員として歩み出すという大きな転換点となりました。
問13	答え 3 サンフランシスコ平和条約	1951年にアメリカなど多くの連合国と締結された条約です。これにより日本は主権を回復し、連合国軍の占領は終了しました。同時に吉田茂首相が署名し、日本は国際社会の一員としての地位を取り戻しました。
問14	答え 4 中間子	湯川秀樹は、原子核の中に存在する陽子と中性子を結合させる力が、ある未知の粒子のやり取りによって生じているという仮説を立てました。これが1935年に予言した「中間子」の理論です。1947年に宇宙線の観測によってその存在が実際に証明され、1949年にノーベル物理学賞を受賞しました。
問15	答え 3 毛沢東	毛沢東が率いる共産党は、内戦の末に勝利し、1949年に中華人民共和国を樹立しました。毛沢東は国家主席として中国の指導者となり、共産主義的な政策のもとで社会の改造を推し進めました。